

# 令和7年度 延岡青朋高等学校 総合評価(定時制課程)

『評価』は4段階の数値で行う。4:十分達成されている 3:ほぼ達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

重点目標	具体的な方策(P)	結果と課題(D)	自己評価 (C)		改善策または 充実項目(A)	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
1 「確かな学力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の実態を踏まえた教育課程および評価方法の検討の継続</li> <li>○国語、数学、英語における学校設定科目の開講を継続させ、学び直しや進学希望生徒へのニーズに対応する。</li> <li>○教科代表者との連携により、開講している科目群の検討を行う。</li> <li>○公開授業の実施を計画し、充実させる。</li> <li>○教育DX推進の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数の実施時間の格差をなくすための対策の検討を行った。</li> <li>・R8年度から1単位の科目群を除き2時間連続授業となる。</li> <li>・例年以上に、II部③及びII部生徒が増加した。</li> <li>・公開授業週間を予定通り実施し、意義のある行事運営であった。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務部及び教科代表者との連携により、微調整を行い生徒及び学校のニーズに対応したものになってきている。</li> <li>・時間割における実施講座の増加について、学校設定科目の開設やキャリア関連科目の開設など各教科に依頼した。</li> <li>・公開授業週間では多くの中学生、保護者、学校運営協議会委員の方に来校していただけた。</li> </ul>	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時制でありながら、昼間にも講座を設けている本校は、他校に比べ職員の負担も多く、また3部制によるカリキュラムの複雑さもある中で、生徒の新たなニーズに応えるべく講座の増加や新しい科目の開設などを検討されていることが素晴らしい。</li> <li>・多様な生徒に対応できる体制が構築されることを期待します。</li> <li>・公開授業は生徒の学ぶ姿、笑顔、挨拶を感じる事ができた。先生方の指導方法、生徒への接し方を見る事ができ、生徒へ丁寧かつ分かりやすく話そうとする、伝えようとしている様子が確認できました。今後も公開授業は定期的に実施してください。</li> <li>・時間割における実施講座の増加について、先生方への連絡、報告はとても大事だと思います。</li> <li>・公開授業では、保護者、私たちももっと参加すべきだったと反省しております。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力および単位修得率の向上</li> <li>○月別指導計画を作成し、授業の振り返りを行うことで、個々の授業力向上を図るとともに、各教科における共有財産として蓄積する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会を通じて日々の授業改善や専門性の向上に努めることについて継続してお願いしている。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常どおりの日々の授業を実施できている。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常通りに出来ることのすばらしさを生徒にも伝えていって欲しい。</li> <li>・継続した取り組みに期待します。</li> <li>・各教科の先生方、ほんとうにありがとうございました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アクティブラーニングの視点を取り入れた研究授業及び授業研修や、ICTを活用した研究授業及び授業研修を実施することで、教員の授業力向上を図るとともに、生徒の授業への興味・関心を高めることで、単位習得率向上のための一助とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研修ではAI活用について意義のある研修を実施した。</li> <li>・教育課程説明会&amp;授業参観を12月に実施できた。意義のある行事運営であった。例年以上の保護者の参加が目立った。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末の運用は貸与を中心に案内しているが、少数であるが購入者もいた。次年度は価格を下げた案内予定である</li> <li>・ポータルサイトの運用や今年度から開始したマチコミなどを有効に活用できた。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的に厳しい家庭もある中でこの物価高です。少しでも安く教材を提供する努力をされていて頭の下がる思いです。</li> <li>・ICTの利活用は実社会で必須のスキルとなっています。教育環境の整備は大変だと思いますが、期待しています。</li> <li>・端末の運用 これからの社会には必要だと思います。価格を下げての案内予定は賛成します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育全体計画に基づくグループの独自性を大切にキャリア教育の推進。</li> <li>○進路指導部主催行事の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのキャリア教育の資産を受け継ぎながら、A・C・Dグループとの連携、取組の支援を進めている。</li> <li>・進路指導部主催行事の充実に努め、積極的な進路情報の提供と担任の支援を進めた。</li> </ul>	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの独自性を大切に、キャリア教育の推進・支援に努めて行く。</li> <li>・進路情報の提供方法の工夫をさらに考える必要がある。</li> </ul>	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の特性も進路も多様なので大変かと思いますが、卒業してからのことを思い描きながらの進路指導をお願いします。</li> </ul>
2 「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援(問題行動の未然防止への常時指導や教育相談との情報の共有化や巡回指導の強化)</li> <li>○TPOに応じた礼法やマナー指導の充実</li> <li>○自己指導力の育成(自発的に行動の判断、実行する力の育成)</li> <li>○学校行事・人権教育の充実(生徒会や生徒専門委員会との連携強化・いじめや暴力根絶に向けた指導の充実)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談との情報共有をすることができた。巡回も夕休みに計画的に実施してきた。</li> <li>・集会や式典等注意を受ける生徒もほとんどいない。</li> <li>・文化祭など生徒会を中心に自主的な活動が見られた。</li> <li>・生徒会でゴミ回収等主体的な活動を継続している。ボランティア活動にも参加する生徒もでてきた。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教育相談・職員と情報共有を行い、巡回も計画的に行っていきたい。</li> <li>・集会、式典でのマナーは良好である。継続して指導していきたい。</li> <li>・文化祭について日程・内容とも検討していく予定である。</li> <li>・生徒の主体性を大事にしながら、教員でサポートしていきたい。</li> </ul>	4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青朋高校には様々な分野で秀でている生徒も少なくなく、その能力を磨き発表する時間や機会にも恵まれていると感じます。そのような生徒への手助けを今後も続けていって欲しいと思います。</li> <li>・先生方の日々の指導の賜物だと思います。今後も期待しています。</li> <li>・生徒の主体性を重んじる姿勢は大変ありがたいです。生徒一人一人が自主性、自己責任を意識して今後の成長の糧につながる指導、見守りをお願いします。</li> <li>・集会、式典のマナーはほんとうに良くなっています。</li> </ul>

	<p>○生徒会やボランティア活動の充実（生徒会や生徒専門委員会との連携強化）</p> <p>○自己・他人の命を大切に する心の育成</p> <p>○TPOに応じた礼法、マナー指導、及び各種活動を通じた自己指導能力の育成。</p>	<p>・年度当初にSHR・授業の初めと終わりの起立・礼の統一指導をお願いしている</p> <p>・Dグループの面接指導等を通して礼法を意識づけた。</p>	3	<p>・日常的なTPOに応じた言葉遣いの定着には至っていない。敬語を意識する指導を続けていく。</p>	3	<p>・なかなか在学习中には言葉遣いを変えようとしていない生徒もいるかも知れませんが、職員が示し続けることが大事なのではないかと思います。卒業してから思い出してくれることも大事かと思えます。</p> <p>・社会に出ると、言葉遣いはとても大事な要素だと思います。敬語を意識すること、相手を想う言葉等、日頃から使うことで、自然に会話で使えるようになります。継続して指導をお願いします。</p> <p>・昔に比べると良くなっているが、TPOに応じた言葉遣いは今の生徒の課題だと思う。保護者もそれを感じてほしいと思う。</p>
	<p>○学校生活アンケートや日常の相談を通して、いじめや人間関係のトラブル、深刻な悩み等をするいじめ、対応策を検討する。</p> <p>○人権学習に関する職員研修を実施し、生徒および職員の人権意識を高める。</p>	<p>・前期1回、後期1回の学校生活アンケートや担任による面談を通して早めに生徒の状況を知ることができた。いじめはゼロであった。</p> <p>・職員研修を実施し、人権学習に関する理解を深めた。</p>	4	<p>・障害や特性、困難さに応じた指導・支援について理解を深めることが大切である。</p>	4	<p>・障がいや特性についての理解もずいぶん進んできたように思いますが、学問としての分野は新しく、日進月歩だと思いますので更なる研修の継続をお願いします。</p> <p>・職員研修の実施は良い取り組みだと思います。定期的実施されることを期待します。</p> <p>・言葉のいじめが心をキズつけていると思う。片方に聞かず両方から聞いて指導・支援していただきたいと思えます。</p>
	<p>○読書週間を通して、読書に親しむ環境を整える。</p> <p>○POPコンテストを実施することで自己表現とコミュニケーション能力を培う。</p> <p>○授業・自習における図書館の有効な利用の促進と図書館利用時のマナー育成を促進する。</p> <p>○1人当たりの貸し出し冊数の目標3冊を目指す。</p>	<p>・生徒たちは読みたい本を準備し、集中して読書を行った。</p> <p>・POP作成の取組状況も良く、職員からの参加もあった。また、図書委員による啓発のためのポスター作成もあった。</p> <p>・授業・自習での図書館の使用が増加し利用の促進が図れた。利用の際のマナーも問題なかった。</p> <p>・一人あたりの貸出冊数は2.7冊(R7,12,23現在) 昨年の3.6冊より減</p>	3	<p>・読書週間及びPOPコンテストを通じ、読書に関する興味・関心を高めるための工夫改善を更に進める。</p> <p>・図書館利用のマナー向上を集会などを利用し呼びかける。</p> <p>・1人当たりの貸し出し冊数は昨年度より減少。次年度は目標3冊を達成するよう工夫改善を図りたい。</p>	3	<p>・学校図書館のよい部分は残しながら、新しい活用形態を模索されているのかなと思います。</p> <p>・読書の習慣化は国語力の向上にも繋がると考えられます。貸出冊数が向上する取り組みに期待します。</p> <p>・本の貸し出し冊数が昨年より減少していますが、本校全体での貸し出しを表記するとよいと感じました。</p> <p>—例— 数字と会話につながるきかけ作り 平均貸出冊数 2,1冊 生徒に人気の本「                   」 本校貸出冊数 1234冊 職員が最近購入した本「                   」</p> <p>本の内容を共有する仕組み作りが必要だと感じます。読書は自己学習、自分を振り返れる場でもあり、本があればどこでも読めます。本の良さ、物語の楽しみ、知識、過去を振り返ることができるため、若い時に本に触れる機会を増やしたいですね。</p>
3	<p>「健全な体」の育成</p> <p>○基本的な生活習慣の確立（生徒専門委員会との連携強化）</p> <p>○健康教育の充実（各種研修会の充実）</p> <p>○保健安全教育的の推進（各種研修会の充実）</p> <p>○部活動の活性化（心・技・体の強化・部活動規定の見直し）</p>	<p>・生徒専門委員会で「言葉遣い」や「感染症予防」等の声掛けの活動を行ってきた。</p> <p>・外部講師を招いて研修会を実施した。</p> <p>・男女卓球、男女バドミントン、女子バスケットボールが全国大会に出場した。</p>	3	<p>・「感染症予防」、「言葉遣い」とも改善は見られるが、今後も継続的に行う必要がある。</p> <p>・部活動の参加状況も良く、大会以降も部活動を希望する生徒が多くなった。部活動の活動内容や活動費用についても検討が必要である。</p>	4	<p>・全国大会に出場できるのも、顧問をされている先生方がいてこそだと感じています。ご苦労様です。</p> <p>・言葉使い、運動、知識どれも大事な成長要素だと思います。生徒が教える立場になったときに命を守り行動がとれるためには、正しい防災、危機管理知識、そして行動するための知識、他人との連携の挨拶、どれも大事な様子だと感じます。今後も部活動による指導、危機管理教育をお願いします。</p> <p>・部活動費用については、青朋高校として参加するために定時・通信、同じ学校だから生徒にできるだけ負担させたくないと思う。</p>
		<p>○生徒が危機管理意識や、施設等の安全管理、保健安全に関心を持ち、自ら考える力を育成するため、環境教育や防災教育、心肺蘇生法実技講習、講演会等を実施する。</p>	<p>・地震や火災の防災訓練、夜間訓練を実施してきた。講話や高校生研修により危機管理意識の向上を確認できた。心肺蘇生法講習を実施できた。</p>	3	<p>・署員との綿密な計画のもと実施する。</p> <p>・生徒研修会の報告を生徒会活動へ発展させる。</p> <p>・危機管理意識が学校生活への自主性に発展させる。</p>	4

4	学校創生「チーム青朋」	<p>○各研修会からの情報を提供し、適切な相談者や相談機関につなげる。</p> <p>○外部機関と連携し、広い視野で生徒の対応にあたる。</p>	<p>・スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、ハートサポーター、市の相談支援センターなどと連携を図り、支援につなげた。</p>	4	4	<p>・様々な事情や特性のある生徒が増えてきているので、今後も専門家と連携を図りながら対応していくことが重要である。</p>	4	3.5	<p>・子供たちにもこれまでの人生の積み重ねがありますので、なかなか違う価値観を共有することは容易ではないかと思います。まずはその子の人生の歴史を理解することからでしょうね。</p> <p>・対応事例が教職員間で共有されることを期待します。</p> <p>・外部の専門家との連携は重要だと感じます。一人ひとりの実情等多岐にわたる事案も先生、学校だけのためず、外部との連携を図り対応をお願いします。</p> <p>・保護者と生徒、できるだけスクールカウンセラーに話を聞いてほしいと思う。</p>
		<p>○PTA活動によって保護者と学校との連携・協働を図るとともに、生徒が挨拶をしたりマナーを身に付けたりする場を設け、「感謝する心」を養う。</p>	<p>・総会、役員会、挨拶運動、螢月祭等の各場面で保護者の協力を得ることができ、感謝している。</p>	3	4	<p>・螢月祭において、数年ぶりにPTAバザーを実施することができた。今後は、早めの計画を促したい。</p>	4	<p>・コロナでPTA関係の行事が減っていたので、バザーの復活は嬉しいですね。</p> <p>・感謝する心を養う、良い取組だと感じます。</p> <p>・PTA、生徒、先生方との団結して頑張してほしいと思う。</p>	